

平成27年度 介護保険特別会計の決算の状況

介護保険特別会計の決算の状況は、図4のとおりです。

歳入は77億9879万円、歳出は75億5289万円で、2億4590万円が平成28年度への繰越金となります。この繰越金から、27年度分の負担金などの清算として、国や都などに1億1659万円を返還します。

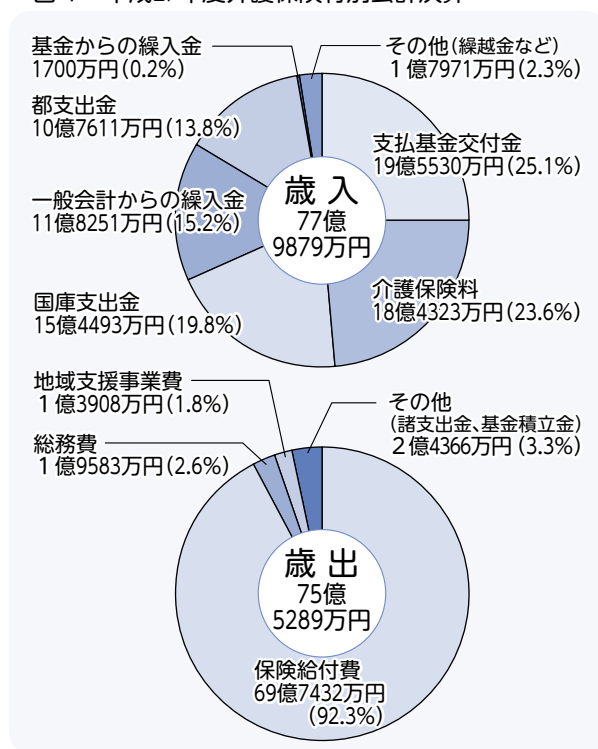
◎歳入

歳入の主なものは、支払基金交付金(40～64歳の医療保険加

◎歳出

歳出の主なものは、保険給付

▼図4 平成27年度介護保険特別会計決算



費で、全体の92・3%を占めています。残りの7・7%は、総務費(人件費や事務費など)、地域支援事業費(介護予防や地域包括支援センターなどの費用)、基金積立金、国や都などへの負担金返還額を含めた諸支出金です。

なお、保険給付費は、50%を加入者が納めた保険料で負担し、残りを公費(国25%、都12・5%、市12・5%)で負担しています。

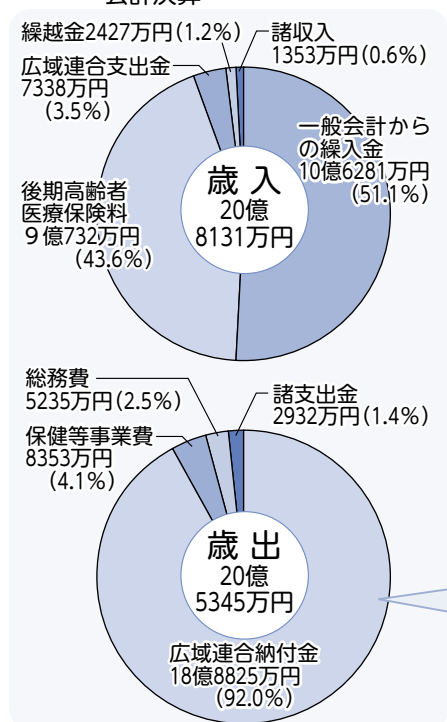
◎一般会計からの繰入金が増加
26年度と比較すると、歳出の保険給付費が1億6923万円増加しました。そのため、国・都の公費負担分も負担割合に応じて増加し、市の一般会計からの繰入金も9690万円増加しました。

◎65歳以上の加入者1人当たりの保険料と保険給付費
65歳以上の加入者1人当たりの保険料は、平均年額6万6581円でした。

サービス利用者1人当たりの保険給付費は、施設サービス給付費が平均月額26万1469円、居宅介護サービス給付費が平均月額11万4381円でした。

26年度と比べると、保険料は3509円増加し、施設サービ

▼図5 平成27年度後期高齢者医療特別会計決算



後期高齢者医療特別会計は、東京都後期高齢者医療広域連合が運営しています。

平成27年度の決算の状況は、図5のとおりです。

医療費の増加や高齢化などにより、医療機関に支払う市負担金の増加が見込まれています。

医療費の抑制を図るため、日頃から健康づくりや病気の予防に心がけましょう。

☆詳しくは、後期高齢者医療係へ。

平成27年度 後期高齢者医療特別会計の決算の状況

入給付費は7727万円、居宅介護サービス給付費は1337万円

減少しました。
☆詳しくは、介護保険係へ。

【歳出の92.0%を占める広域連合納付金の内訳】

